

北海道旭川南高等学校

硬式野球部



近年の主な戦績

令和3年

春 対 旭川龍谷 1-4

夏 対 旭川龍谷 0-7

秋 対 旭川実業 1-11

令和2年

大会中止

対 旭川龍谷 1-8

対 羽幌 1-2

令和元年

旭川工業 3-7

旭川永嶺 2-0

旭川北 0-2

旭川大学 0-10

ここ2年勝利から遠ざかっていますが、もう一度、「強い旭川南高校」を作るべく頑張っています。

部員について 人数 19名（内マネージャー5名） ※1, 2年生の人数です

主将 山口 晴基（東神楽中）

副主将 楠本 恭治（旭川東陽中）

出身中学校

東陽中（2年3名 1年1名） 東光中（2年2名） 東明中（2年1名 1年1名）

緑が丘中（1年2名） 神楽中（1年2名） 当麻中（2年1名） 東神楽中（2年1名） 啓北中（2年1名）

東川中（1年1名） 旭川中（1年2名） 神居中（1年1名）



みなさんこんにちは。

南高野球部主将の山口晴基です。南高野球部は現在、選手十四名で活動しています。他の学校と比べると人数も少なく難しいこともたくさんあります。しかし、一人ひとりが練習に取り組む時間が多く確保でき、技術向上に繋がると 생각합니다。そして、少ない人数なりに効率よく練習するにはどうすればよいかと日々考えながら、取り組んでいます。この野球部は、目上の方との関わり方や、先輩や同級生との人間関係を学べる場所でもあり、仲間とひとつの目標に向けて切磋琢磨し合える場所だと思っています。



マネージャー作 お守り

☆マネージャーより☆

みなさんこんにちは！南高野球部の選手は、みんな個性豊かで優しい人たちです。練習後の部室からは、楽しそうな笑い声がたくさん聞こえてきます。学年問わず仲が良かったです！そして、練習や試合に取り組む姿は一生けん命でとても格好良いです。楽しそうに野球をする姿には、私たちもいつも元気をもらっています。是非、南高野球部と一緒に野球をしましょう！まっけます☆

進路先（過去3年）

※印は野球継続者

北海学園大学

北星学園大学

北翔大学

旭川大学※

北海道文教大学

国士舘大学

日本体育大学※

東京情報大学



この3か年は全ての卒業生が、大学へ進学しました。部活をやりながら、勉強をするのは大変です。野球部の学習成績向上のために勉強会を行っています。

練習について

・平日一日休み ・休日練習は15時頃 ※大会前などは、この限りではありません。

オフシーズンは、野球以外の活動にも力を注いでもらいます。（ボランティア活動、社会経験を積む活動など）

練習メニューは顧問がベースを考えますが、**選手との対話**の中で最終的には確定させます。従って、選手が「〇〇を練習したい」「〜〜が自分のチームの課題だ」と常に主体的に考えている必要があります。言われたことを、やっているだけでは、野球は上達しても、社会で活躍できる人間性は育たないと思っています。

顧問について

指導方針

高校野球を指導するにあたって、最大の目的は「社会で活躍できる人を育てること」だと考えています。野球に打ち込む過程で、人間性を高め、社会で活躍できる人になって欲しいと願いながら指導にあたっています。スポーツでは心技体が大事と言われると思いますが、私は左のピラミッドのように考えています。人間性が土台にあって、その上に体力や技術が重なり、結果が付いてくる。ピラミッドの頂点（結果）を出すには、人間性の土台を広く厚くする必要があります、最終的に人間性で差がつく

くということです。ちなみに良い人間性については、次のように選手に説明しています。

「自分以外の何か、誰か」のために良い考え、良い行いができるかどうか

このことが、チームワーク向上のカギともなります。もしも、旭川南高校に大谷翔平が一人いても勝てません。大谷の球を捕れる捕手はいませんし、大谷が全打席敬遠されてしまい他の打者が打てなければダメです。高校野球には、チームワークが絶対に必要なのです。仲間のことを思いやり、自分以外の何かのために尽力できる選手が多くなれば、個人の力量不足を補い、予想もしない力を生みます。高校生の力は無限大です。我々、旭川南高校硬式野球部も可能性は無限大にあります。野球は球技といいながらボールではなく「人間」が得点するスポーツです。人間を磨けば、点数を取れるかも…

みなさんに臨むこと

皆さんは数あるスポーツの中でも野球を選んで、野球の面白さに魅了された方たちなのだと思います。是非、高校でも野球を続けてください。そのために、今の時期に ・基礎体力を落とさないこと ・重たいバットに慣れる ことをやってほしいと思います。せっかく高校に入学しても、早々に肩・肘を壊したり腰を痛めては元も子もありません。また、部活と勉強の両立は簡単ではありませんからしっかり勉強もしてください。高校野球を存分に楽しむために、今の過ごし方が大事です。そして、是非旭川南高校でお会いしましょう！

（旭川南高校 野球部監督）